

これも資産？

～有価証券・固定資産～

講師
 粕谷和生

これまでに学んだおもな資産には、現金・当座預金・受取手形・売掛金などがありました。今回は有価証券や固定資産といわれる資産の取引の記帳について学びます。有価証券とは買い入れた株式や社債などをいい、固定資産とは備品や建物、土地などのことです。そして、これらの記帳を学習します。

調べておこう・覚えておこう

株式／社債／有価証券／
 取得原価／帳簿価額／固定資産

有価証券・固定資産とは

(1) 有価証券とは

簿記上の有価証券には、株式・社債・公債などがあり、その内容は下記のとおりです。

株 式	株式会社が資本を調達するために発行する。株式の所有によって株式会社から配当を受け取ることができる。
社 債	株式会社などが長期の資金を借りるために発行する。社債の所有によって、株式会社などから定期的に利息を受け取ることができる。
公 債	国または地方公共団体が、財政上の収入を補うために発行し、国債と地方債がある。公債の所有によって国または地方公共団体から、定期的に利息を受け取ることができる。

(2) 固定資産とは

企業が営業活動のために使用する目的で、1年を越える長期にわたって所有する資産を固定資産といいます。固定資産には建物・備品・車両運搬具・土地などがあります。

おもな固定資産	具 体 例
建 物	店舗・事務所・倉庫などの営業用の建物
備 品	パソコン・コピー機・商品陳列ケース・金庫など
車両運搬具	営業用のトラック・乗用車・オートバイなど
土 地	店舗や事務所の敷地などの土地

番組では、固定資産の例としてわたび～1号という自転車を紹介します。一般に簿記の学習で自転車を例にすることはありません。しかし、取得原価が¥100,000以上の場合は、税法上、固定資産になります。

Key Word：有価証券 固定資産



有価証券の記帳

(1) 有価証券の購入の記帳

有価証券は有価証券勘定を用いて処理します。株式や社債などの有価証券を購入したときは、有価証券という資産が増加するので仕訳は次のようになります。

(借) 有価証券 $\times\times\times$ (貸) 当座預金など $\times\times\times$

借方の有価証券の金額 $\times\times\times$ は取得原価です。取得原価とは、買入価額に買入手数料などを加えた金額です。買入手数料などの費用も資産である有価証券の金額に含めることに注意してください。

取引 さかっち商店は、A社発行の株式10株を、1株につき¥60,000で買入れ、代金は買入手数料¥7,000とともに小切手を振り出して支払った。

考え方・仕訳・転記

1株¥60,000の株式を10株買っているので、買入価額は¥600,000(=¥60,000×10株)です。買入手数料は¥7,000ですから、取得原価は買入価額に買入手数料を加えて¥607,000になります。よって、仕訳と転記は次のとおりです。

(借) 有価証券 607,000 (貸) 当座預金 607,000

	有 価 証 券
当座預金	607,000

取引 さかっち商店は、額面金額¥1,000,000の社債を額面¥100につき¥98で買入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

考え方・仕訳・転記

「額面¥100につき¥98で買入れた」ということは、「額面¥100の社債を¥98の値段で買った」という意味です。つまり、額面¥100の社債を額面より¥2安く買ったということで、2%引きの値段ということでした。したがって、額面¥1,000,000の社債の買入価額は次のように計算することができます。

$$\text{買入価額} = ¥1,000,000 \times \frac{¥98}{¥100} = ¥980,000$$

この取引では、買入手数料はないので買入価額がそのまま取得原価になります。よって、仕訳と転記は次のとおりです。

(借) 有価証券 980,000 (貸) 当座預金 980,000

	有 価 証 券
当座預金	980,000

ポイント 取得原価 = 買入価額 + 買入手数料

(2) 有価証券の売却の記帳

有価証券を帳簿価額よりも高い値段で売却したときの仕訳は次のようになります。

(借) 現金 など ××× (貸) 有価証券 ×××
有価証券売却益 ×××

反対に、有価証券を帳簿価額よりも安い値段で売却したときの仕訳は次のようになります。

(借) 現金 など ××× (貸) 有価証券 ×××
有価証券売却損 ×××

帳簿価額とは、総勘定元帳など帳簿に記録されている金額のことです。売却をするときは有価証券勘定などを見て、売却時の帳簿価額を確認しなくてはなりません。

取引 帳簿価額¥607,000の株式10株を¥620,000で売却し、代金は現金で受け取った。

仕訳 (借) 現金 620,000 (貸) 有価証券 607,000
有価証券売却益 13,000

取引 帳簿価額¥980,000の社債を¥970,000で売却し、代金は現金で受け取った。

仕訳 (借) 現金 970,000 (貸) 有価証券 980,000
有価証券売却損 10,000

ポイント 売却価額 > 帳簿価額 → 有価証券売却益
売却価額 < 帳簿価額 → 有価証券売却損

固定資産の記帳

(1) 固定資産の購入の記帳

固定資産を購入したときの記帳は有価証券の場合と基本的に同じです。例えば建物を、小切手を振り出して購入した場合、仕訳は次のようになります。

(借) 建物 ××× (貸) 当座預金 ×××

借方の建物の金額×××は取得原価で買入価額に付随費用（買入手数料・登記料・整地費用など）を加えた金額です。

取引 営業用に自転車¥99,000を買い入れ、代金は買入手数料¥1,000とともに現金で支払った。

仕訳 (借) 車両運搬具 100,000 (貸) 現金 100,000

